

背景

- 子供たちがアクセスできる情報が難しい。
- 実験を通じた環境問題の再現や探究機会が少ない。



目的

- 子供たち自らが、実験や実証を通して、琵琶湖の環境問題の理解を深め、関心を高める。
- イベント後も楽しく探求し続け、他の人が持っていない自分らしい知識・力を身に付ける。



「次世代を担う子どもたちが大学生と一緒に琵琶湖の環境問題を学び、考える環境をつくりたい」。そんな思いから生まれたのが、琵琶湖の研究者になろうツアーです。



手作り浄水場を作ろう！

琵琶湖の水を綺麗にするという観点から「浄水」に着目したワークショップを行いました。

- 日程 2022年3月20日
- 場所 ハッシュタグ大津京
- 参加者 小学生10名
保護者9名

- 内容
- オリジナルろ過装置作り
- 考察・発表会
- 浄水場
- オンライン見学会
- 凝集剤実験



参加者の声(よかったところ)

浄水場のことがよくわかった。ろ過の仕組みが理解できた。親子でためになる素晴らしい企画でした。

家棟川探検隊！ 水と生き物を調べてみよう

琵琶湖での実験や調査を通して、人間と生き物のそれぞれにとって住みよい琵琶湖とはどんなものなのか自分なりの答えを見つけました。

- 日程 2022年10月30日
- 場所 家棟川流域
野洲図書館ホール
- 参加者 小学生6名
保護者4名

- 内容
- 湖パックテスト(山、川、田んぼ)
- 周辺環境や生き物の観察
- 発表・意見交換



参加者の声(よかったところ)

本当に子どもたちが興味津々で楽しそうに先生や大学生のお話を聞いたり、観察したりしている様子を見られたことです。

今後に向けて

2023年、夏休み
第3回イベント開催決定！
テーマは森！乞うご期待！

